

令和 7 年

第 1 回

交野市文化財保存活用地域計画協議会 議案

令和 7 年 5 月 1 4 日

交野市文化財保存活用地域計画協議会

議 事 日 程

令和7年5月14日

日程第 1 議案第 1 号 令和 6 年度文化財事業の進捗状況及び令和 7 年度の予定について

日程第 2 その他

議案第 1 号

令和 6 年度文化財事業の進捗状況及び令和 7 年度の予定について

交野市文化財保存活用地域計画協議会条例（令和 2 年 3 月 3 1 日条例第 1 4 条）第 2 条に基づき、令和 6 年度事業の進捗状況及び令和 7 年度の予定を、次のとおり協議会に報告する。

交野市文化財保存活用地域計画（抜粋）・・・・・・・・・・別紙 1 のとおり
令和 6 年度の文化財事業の進捗状況・・・・・・・・・・別紙 2 のとおり
令和 7 年度実施計画（文化財事業抜粋）・・・・・・・・・・別紙 3 のとおり

令和 7 年 5 月 1 4 日提出

交野市文化財保存活用地域計画協議会
会長 網 伸也

令和 5(2023) - 令和 14(2032)年度

交野市文化財保存活用地域計画

【本編】

交野市教育委員会

第 7 章 「交野の歴史文化」の保存と活用に関する措置

7-1. 基本方針に基づく措置

第 5 章で設定した課題解決に向けた「5つの基本方針」をもとに、「交野の歴史文化」の保存と活用に関する「13の方針」とその「20の措置」を示します。

課題への対応

基本方針	措 置
方針 1 : 「交野の歴史文化」の把握	
1-1 : 文化財調査の実施	1 : 重点遺跡の発掘調査及び整理
1-2 : データベースの整備	2 : 「交野の歴史文化」の悉皆調査及びデータベース化
1-3 : 市史編纂事業の推進	3 : 市史編纂に関する調査と続編の刊行
方針 2 : 「交野の歴史文化」の保存	
2-1 : 文化財の維持保全	4 : 未指定文化財の指定等の検討
	5 : 指定等文化財の保存・継承等
2-2 : 文化財の防災・防犯対策	6 : 指定等文化財の防災・防犯対策 (防災・防犯)
方針 3 : 「交野の歴史文化」の活用	
3-1 : 体験型プログラムの充実	7 : 子ども体験教室
	8 : 「交野の歴史文化」めぐり
3-2 : 文化財の公開	9 : 教育文化会館の充実 (保存・活用)
	10 : 文化財の公開
3-3 : 観光施策との連携強化	11 : 「交野の歴史文化」体験授業
	12 : 「交野の文化財」の交野ブランド化への取組み
	13 : 周遊コースの設定 (設定・案内)
方針 4 : 「交野の歴史文化」の周知・啓発	
4-1 : 情報発信の充実	14 : SNS の活用など情報発信の充実
4-2 : 文化財の周知	15 : 「交野の歴史文化」を知る機会の創出
	16 : 文化財講座の開催
4-3 : 学校教育との連携	17 : 学校支援の充実
方針 5 : 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり	
5-1 : 人づくり	18 : 地区や活動団体への取組み支援 (後継者育成・活動支援)
5-2 : しきみづくり	19 : 市内の連携体制の推進
	20 : 広域の連携体制の推進

本計画は、大阪府文化財保存活用大綱や上位計画の交野市総合計画などを勘案し、「交野の歴史文化」や地域の実情を踏まえ、文化財保護行政としての措置および事業を以下に示します。事業はさらに細区分しています。

基本理念「残して、活かそう交野の歴史文化、つなごう未来、次世代へ」の実現のために、文化財の保存と活用に関する課題を捉え、文化財を総合的・一体的に把握する方法も用い、市民、地区（地域コミュニティ）、各種団体、文化財所有者、市役所等が連携を図り、実現するための10か年計画です。

実施する事業は次のとおりとし、集中して実施する期間を示します。これらの事業は、市の財源のほか、国（文化庁）及び大阪府の各種補助金や地方創生推進交付金などに加えて民間資金も活用し、本計画の実現に取り組めます。

【凡例】
 <事業 No> ★…重点事業 <取組主体> ◎…中心になって取組む ○…協力して取組む
 <事業の継続性> ←→ 既存事業 → 新規事業

1 : 「交野の歴史文化」の把握

「交野の歴史文化」はこれまでに把握した以外にも多数残されていることが予想されます。引き続き調査や整理を進め、その成果を市史として編纂することを目指します。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
1	1-1	重点遺跡の発掘調査及び整理	市街区区域内にある交野郡衙跡及び長宝寺跡の発掘調査及び出土品の整理作業を進め、報告書にまとめます。		○			◎	←→				
2	2-1	文化財の悉皆調査及びデータベース化	近代の美術工芸品（絵画、彫刻、書籍・典籍）など文化財の悉皆調査を実施し、資料のデータベース化を進めます。		○		○	◎	←→				
3	3-1	市史編纂のための調査の継続	社寺・仏閣などに保存されている古文書等の美術工芸品の調査を継続して進めます。		○		○	◎	←→				
	3-2	市史編纂	社寺・仏閣編や考古編Ⅱの市史の編纂を引き続き行います。					◎					←→

2 : 「交野の歴史文化」の保存

未指定文化財の指定等を進めて「交野の歴史文化」の保存に努めます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）					
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目	
4	4-1	未指定文化財の指定等の検討	文化財の指定等による保護措置を行います。特に、現在指定等文化財がない郡津地区の石造文化財について検討します。		○			◎	○	←→				
5	5-1	指定等文化財の維持管理	指定等の文化財について、保存状態を把握し、適切な維持管理を推進します。					◎	○	←→				
	5-2	文化財の保存	旧集落の町並みや古き良き景観等の保存に努め、消滅する場合には映像等によるアーカイブとして保存します。					◎	◎	→				

5	5-3	保存活用計画の作成の推進	指定等文化財のうち、特に個人所有の住宅を保存・継承することを目的とし、個別の「保存活用計画」の作成を推進します。					◎	◎	←————→				
6	6-1	指定等文化財の防災対策の促進	所有者への消防設備の設置・点検の指導や市民の指定等文化財に対する防災意識を高めます。(詳細 P95)	○	○			◎	○	←————→				
	6-2	指定等文化財の防犯対策の促進	所有者等への防犯設備の設置・点検の指導や市民と連携した防犯活動の促進を図ります。(詳細 P96)	○	◎			◎	○	←————→				

3 : 「交野の歴史文化」の活用

「交野の歴史文化」を身近に感じる体験や見学できる活用事業を充実させ保存につなげます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体 (推進機関)					実施期間 (R5～R14 年度)				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
7	7-1	親子体験教室	戦国時代体験や機織り体験等から親子で「交野の歴史文化」に触れる機会を設けます。				◎	○	←————→				
8	8-1	「交野の歴史文化」めぐり	市民参加の「交野の歴史文化」をめぐるスタンプラリーやノルディックウォーク等を実施します。				◎	○	←————→				
9	★ 9-1	教育文化会館の修理	「交野市立教育文化会館保存修理計画案策定報告書」により、建設当初の設計図を参考に、建築当時の姿(美観)を復原修理することで、国登録文化財の保存及び魅力の向上を図ります。					◎	←————→				
	★ 9-2	教育文化会館の活用	展示空間を見直し、展示内容のリニューアルやネット環境整備を行い、計画の拠点として活用します。					◎	←————→				
10	10-1	文化財の公開	国・府・市指定等文化財の公開日や時間を増やします。				◎	○	←————→				
11	★ 11-1	「交野の歴史文化」体験授業	かたのツーリズム協議会や、観光協会、商業連合会等と連携し、文化拠点施設を中心に、「交野の歴史文化」の外国人を含む観光客向け体験授業を実施します。	○	○	◎	○	○	←————→				
12	12-1	市内文化財の交野ブランド化への取組み	「吉向松月窯」や「交野節」、「交野木綿」のPRを他部局と連携して行います。		○	◎		○	←————→				
13	13-1	周遊コースの設定	「保存活用区域」を中心に「交野の文化財」を周遊するコースを設定し、パンフレットやマップ作成を行います。	○	○	◎	○	○	←————→				
	13-2	案内板等の設置	「交野の文化財」や周遊コースのための案内板等の設置を外国語併記で行います。	○	○	○	◎	○	←————→				

4 : 「交野の歴史文化」の周知・啓発

情報発信を充実させ、「交野の歴史文化」について市民の理解が深まるよう努めます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
14	14-1	情報発信の充実	市民が親しめるような文化財情報を発信するホームページ等にリニューアルします。また、適宜情報を更新します。					◎	←————→				
15	15-1	「交野の歴史文化」のガイドブックの刊行と配布	親子で楽しめるガイドブックを刊行し、小学校等への配布を行います。		○	◎		○	←————→				
	15-2	市民を対象としたワークショップの開催	「交野の歴史文化」を知ることにより、交野への愛着や誇りを深めることを目的としたワークショップを地区毎に行います。	◎	◎	○		○	←————→				
	15-3	郷土史コーナーの充実	公民館や図書館の郷土史コーナーの充実を図ります。		◎			◎	←————→				
16	16-1	文化財講座の開催	若い世代も興味を持てるような交野の歴史文化に関する講座を開催します。			◎		○	←————→				
17	★ 17-1	体験学習の充実	市内小学校の教育文化会館の展示見学や綿繰り体験等の受入れを継続します。			○		◎	←————→				
	★ 17-2	学習支援の充実	遠隔地にある小学校の学習支援のため、学習メニューを開発し、オンライン学習を実施します。			○		◎	←————→				

5 : 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり

「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくりについては、交野市文化財保護委員・文化財審査委員会委員とも連携して取組みます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
18	★ 18-1	文化財保存・活用の担い手の育成支援	地域や活動団体等、担い手の育成をはじめとした取組みを支援し、連携体制を整備します。また市民ボランティアの育成に取組みます。	○	○	○	○	◎	←————→				
	★ 18-2	無形の文化財・無形の民俗文化財の継承	市内の伝統的酒造や窯業などの無形の文化財や、交野節（私市おどり）などの無形の民俗文化財の継承のため、その周知と後継者育成を推進するためのPR活動を含め支援を行います。		◎	◎	○	○	←————→				
19	★ 19-1	本計画の推進体制の確立及び事業推進	地区や文化財保護団体、観光団体、商業団体等と連携した地域機関を設置し、文化財の保存・活用事業を進めます。		○	○	○	◎	←————→				
	★ 19-2	相談窓口の充実	青年の家に窓口を置き、文化財所有者や市内の文化財活動団体との各種文化財相談を行います。					◎	←————→				

20	20-1	周辺の自治体や大学等との連携体制の推進	周辺自治体との広域連携の体制整備を進めます。 また近隣の大学や博物館等との連携により学術研究を推進します。							◎	←—————→			
----	------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	---	---------	--	--	--

【重点事業の考え方】

本市が「人づくり・しくみづくり」に重点を置いた「交野の歴史文化」の保存・活用を進めるためには、文化財の周知や市民の活動の拠点となる「拠点整備」が必要と考え、以下の重点事業を実施します。

拠点整備	<p>本計画実施のための拠点となる施設の整備が重要です。本市においては、「交野市立教育文化会館」がその役割を担います。小学校への学習支援などのため、整備が必要です。また教育文化会館を中核に、市内各所の文化拠点施設を結びつけ利用します。</p>
重点事業 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ★9-1 教育文化会館の修理 「交野市立教育文化会館保存修理計画案策定報告書」により、建設当初の設計図を参考に、建築当時の姿（美観）を復原修理することで、国登録文化財の保存及び魅力の向上を図ります。 ★9-2 教育文化会館の活用 展示空間を見直し、展示内容のリニューアルやネット環境整備を行い、計画の拠点として活用します。 ★11-1 「交野の歴史文化」体験授業 かたのツーリズム協議会や、観光協会、商業連合会等と連携し、文化拠点施設を中心に、「交野の歴史文化」の外国人を含む観光客向け体験授業を実施します。 ★17-1 体験学習の充実 市内小学校の教育文化会館の展示見学や綿繰り体験等の受入れを継続します。 ★17-2 学習支援の充実 遠隔地にある小学校の学習支援のため、学習メニューを開発し、オンライン学習を実施します。
人づくり・しくみづくり	<p>文化財を保存・継承する担い手が減少しており、それに対応するための人づくり・しくみづくりが重要です。周辺市にはない、交野市の特色でもある無形文化財・民俗文化財を保護育成します。窓口を設置し、庁内横断の必要な場合でも相談業務のワンストップ化を目指します。</p>
重点事業 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ★18-1 文化財保存・活用の担い手の育成支援 地域や活動団体等、担い手の育成をはじめとした取組みを支援し、連携体制を整備します。また市民ボランティアの育成に取組みます。 ★18-2 無形の文化財・無形の民俗文化財の継承 市内の伝統的酒造や窯業などの無形の文化財や、交野節（私市おどり）などの無形の民俗文化財の継承のため、その周知と後継者育成を推進するためのPR活動を含め支援を行います。 ★19-1 本計画の推進体制の確立及び事業推進 地区や文化財保護団体、観光団体、商業団体等と連携した地域機関を設置し、文化財の保存・活用事業を進めます。 ★19-2 相談窓口の充実 青年の家に窓口を置き、文化財所有者や市内の文化財活動団体との各種文化財相談を行います。

VI. 交野市文化財保存活用地域計画について

本市教育委員会では、令和5年度より『交野市文化財保存活用地域計画』に基づいて「交野の歴史文化」の保存と活用に係る環境整備と地域総掛かり（市民、地区、各種団体、所有者、行政機関）で取り組んでいます。

今年度は、「5つの基本方針」以下の事業を実施しました。

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
基本方針 1. これまでに把握した以外にも多数残されていることが予想されます。引き続き「交野の歴史文化」の把握 調査や整理を進め、成果を市史として編纂することを目指します。					
1-1	重点遺跡の発掘調査及び整理	・埋蔵文化財調査(発掘・確認調査4件、試掘調査1件、工事立会11件) ・森遺跡の遺物整理(古墳時代中期の未整理の土器)、新たな発見があった。	交野市	5年以上	◎
2-1	悉皆調査及びデータベース	・「交野の文化財」のデータベース入力作業中	交野市	5年以上	○
3-1	市史編纂のための調査の継続	・市内の古文書調査(私部村文書整理、星田村文書報告書) ・古文書集中調査と日常調査の実施、星田村庄屋文書目録の刊行	交野市	5年以上	○

基本方針 2. 未指定文化財の指定等を進めて「交野の歴史文化」の保存を進めます。 「交野の歴史文化」の保存					
--	--	--	--	--	--

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
4-1	未指定文化財の指定等の検討	・吉向松月窯に伝わる「吉向焼」を新規の市指定文化財(無形文化財)とした。	所有者 交野市	5年以上	◎
5-1	指定等文化財の維持管理	・史跡、私部城跡、清水谷古墳などの草刈りや樹木の剪定、保護柵の修繕、防草マットの設置等を実施し、指定等文化財のより良い環境を維持しました。特に土地境界付近に残っていた大木を伐採した。	交野市	5年以上	○
5-2	文化財の保存	・重要文化財の建築物や発掘調査の出土品、古文書等の文化財の保存状態を確認し、維持管理に努めた。 ・旧集落に残る古民家・石像物等の記録化を進めた。	交野市	5年以上	○
5-3	保存活用計画の作成の推進	・指定文化財について、特に個人所有の住宅を保存・継承することを目的として、保存活用計画の周知に努めた。	所有者	5年以上	○
6-1	指定等文化財の防災対策の促進	・文化財所有者に対して、消防設備のための補助金を交付した。 ・消防署と連携した防災設備等の点検を実施した。	所有者 交野市	5年以上	○
6-2	指定等文化財の防犯対策の促進	・所有者に対して、文化財に防犯設備の設置や、防犯設備の点検を実施を促すことにより、市民と連携した文化財に対する防犯活動の推進を図った。	所有者 交野市	5年以上	○

基本方針 3. 「交野の歴史文化」を身近に感じる体験や見学できる活用事業を充実させ保存につなげます。 「交野の歴史文化」の活用					
--	--	--	--	--	--

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
7-1	親子体験教室	・かたの木綿腰機体験講座開催した(コースター製作13名参加) ・交野みらい小学校の絵地図講座を開催した。(1組2名参加)	各種団体	5年以上	○
8-1	「交野の歴史」めぐり	・国際交流協会の協力を得て、ガイド資料等の英語化を行った。	各種団体	5年以上	◎
9-1	教育文化会館の修理	・市の財政状況により、国の補助金を活用した大規模改修計画は先送りとなった。その間、小規模改修を実施して対応する。今年度の建物自体の大きな損傷はなく、工事はなかった。	交野市	5年以上	△
9-2	教育文化会館の活用	・特別展・企画展・スポット展を開催し、4,101人の入館者があった。 ・市内小学校3年生の体験学習の場としても利用されている。 ・常設展示の見直しについては次年度以降着手を予定している。	交野市	5年以上	○
10-1	文化財の公開	・秋季・冬季に市主催で市民向けに文化財公開を行った。 ・交野市星のまち観光協会や生駒市観光協会などの団体と連携して公開を実施した。	所有者	5年以上	○
11-1	「交野の歴史文化」体験授業	・私部城を活かし守る会が、国の補助金を活用して私部城跡にて城跡の遺構を歩いて学んだり、関連スポットのスタンプラリーを行ったほか、昔の遊びを体験する事業を実施した。	各種団体	5年以上	◎
12-1	市内文化財の交野ブランド化への取り組み	・交野ブランド化のため、吉向松月窯元の所蔵品及び海外の博物館で所蔵品の調査実施した。 ・『吉向松月窯-開窯220年の歩みEP,2赤楽と黒楽-』を7月31日からの約2か月間、教育文化会館でスポット展示を行った。	各種団体	5年以上	◎
13-1	周遊コースの設定	星のまち観光協会が昨年度完成した「歴史文化めぐり」ガイドブックにて周遊コースを設定した。また、古文化同好会がホームページで地区ごとの見学コースを紹介した。	各種団体	5年以上	○

基本方針 4. 「交野の歴史文化」の周知・啓発
 情報発信を充実させ、「交野の歴史文化」について市民の理解が深まるよう努めます。

事業 No.	措 置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
14-1	情報発信の充実	・市 H.P. にて、「古文書レスキュー」など文化財保存活動に関する情報発信をはかった。 ・星のまち観光協会が参加する行事にて「8ビット交野歴史ゲームのカード」を配布し、周知・普及を行った。 ・私部城を活かし守る会は、行事や H.P. による情報発信を行った。	交野市	5年以上	◎
15-1	「交野の歴史文化」のガイドブックの刊行と配布	・星のまち観光協会による「歴史文化めぐり」ガイドブック及び活かし守る会による私部城周知資料の他、市文化財担当作成の散策マップ等を引き続き配布した。	各種団体	5年以上	◎
15-2	市民を対象としたワークショップの開催	・交野古文化同好会は引き続き交野のフェノロジーカレンダーの発展作業に取組み、関連地図や、地域別のカレンダーを製作・公開した。このほか、市文化祭にて市指定文化財石仏の道のジオラマ製作ワークショップを実施した。	市民地区	5年以上	○
15-3	郷土史コーナーの充実	・星田区へ散策マップを提供し、郷土資料の周知をはかった。また、木曜考古学講座と連携し、テーマに関連する図書を郷土史コーナーで展示・貸し出しをした。	地区	5年以上	○
16-1	文化財講座の開催	・市民文化財講座「交野の重点遺跡『森遺跡を探索』—渡来系資料からのアプローチ—」の開催 (12/1、参加者 63 名)	交野市	5年以上	○
17-1	体験学習の充実	・倉治小、旭小、星田小、交野みらい小、郡津小、岩船小の各 3 年生総勢 480 名参加。昨年度より 1 校、44 名増加した。	交野市	5年以上	◎
17-2	学習支援の充実	・市内小学校教員で構成する社会科教育研究会と協力し絵地図資料の活用について検討し、その結果を体験学習、展示に反映させた。 ・民具資料 (洗濯板) を貸出した (倉治小 3 年)。	交野市	5年以上	◎

基本方針 5. 「交野の歴史文化」の保存・活用のため
 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり
 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり
 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくりについては、交野市文化財保護委員・文化財審査委員会委員とも連携して取り組みます。

事業 No.	措 置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
18-1	文化財保存・活用の担い手の育成支援	・交野市星のまち観光協会は国の補助金を活用し、文化財保存・活用の担い手育成のために「交野歴史文化めぐり」講座 (11 回) を開催した。	交野市	5年以上	○
18-2	無形文化財・民俗文化財 (無形) の継承	・江戸時代から続く吉向松月窯の伝統的な技術の市指定文化財に向けて調査を実施した。 ・交野和わたプロジェクトの一環として、かたの木綿再現のための棉栽培を市民、市内団体の協力を得て実施した。	地区 各種団体	5年以上	○
19-1	本計画の推進体制の確立及び事業推進	・地域の関連団体や市関連部局で構成する保存活用推進会議にて、国の補助金を活用した事業計画を立案し、実施した。	交野市	5年以上	○
19-2	相談窓口の充実	・教育文化会館で文化財に関する問い合わせを受け付け、情報・資料提供等を行った。	交野市	5年以上	○
20-1	周辺の自治体や大学等との連携体制の推進	・寝屋川市、四條畷市から資料借用するなど連携して特別展示を実施した。 ・四條畷市による四條畷高校探求授業 (小松寺跡の調査) の支援に協力し、資料提供等を行った。	交野市 関係機関	5年以上	◎

※事業の進捗状況：◎予想以上 ○予定どおり △やや遅れ ▲実施しなかった ×中止

■今年度の進捗状況と今後の課題

今年度の成果については、「交野の歴史文化」の中のテーマ⑤「徳川支配と伝統的な町並みの成立」の主な構成文化財の中の無形文化財「吉向焼」を市指定文化財に指定することができました。北河内地域では、はじめての無形文化財の指定となります。

当初の予定にあった郡津地区での指定文化財がまだ誕生しておらず、早急に検討を進めないといけません。それに伴い、次年度 4 月には郡津地区の文化財巡りを地元の校区福祉委員会に協力して行います。

さて次年度から本市の文化財担当は、文化観光課が所管になります。文化観光推進法第 2 条には、文化観光を「文化資源の観覧など、文化についての理解を深めることを目的とする観光」と規定され、この法律の精神にもとづいて事業を推進することが、新たな課題となります。 (真鍋)

交野市文化財だより第 36 号

《発行》
 発行日：令和 7 年 3 月 31 日
 発行元：交野市教育委員会
 〒 576-0052 大阪府交野市私部 2-29-1
 TEL：072-893-8111 FAX：072-892-1700
 《デザイン・編集・印刷》
 NPO 法人地域文化調査研究センター

第 5 次交野市総合計画

実施計画 (令和 7 年度)

大阪府交野市

令和 7 年 2 月

1. 交野の歴史文化の保存・活用

事務事業名称			文化財保存活動				所管課	生涯学習推進部 社会教育課	
事業目的・概要			文化財に対する調査研究を行い、その成果を講座などにより市民に報告する。また、体験講座・出前講座を開催する。				事業コード	52401-01	
							事業区分	継続	自主
							直接実施		
年度			令和3年度	令和4年度	第1期基本計画				
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
取組内容			・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	・市民文化財講座の実施 ・古文書等調査の実施 ・体験講座・出前講座等の開催	
活動指標	市民文化財講座等	計画	1回	5回	5回	1回	1回		
		実績	1回	5回	3回	1回			
活動指標	体験講座・出前講座等の開催	計画	5回	5回	5回	10回	1回		
		実績	3回	7回	1回	10回			
事業費(千円)			計画	9,391	9,891	9,889	10,184	12,557	
			実績	9,140	9,891	10,497	11,964		
内) 国・府負担額			計画	—	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—		

事務事業名称			埋蔵文化財発掘調査の実施				所管課	生涯学習推進部 社会教育課	
事業目的・概要			埋蔵文化財を保護・活用するため発掘調査及び報告書作成を行う。				事業コード	52401-02	
							事業区分	継続	法定
							直接実施		
年度			令和3年度	令和4年度	第1期基本計画				
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
取組内容			・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	・文化財保護法等に基づく手続きに係る事務及び発掘調査 ・調査報告書の刊行	
活動指標	調査件数	計画	10件	10件	15件	15件	15件		
		実績	12件	10件	8件	10件			
活動指標	報告書冊数	計画	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊		
		実績	1冊	1冊	1冊	1冊			
事業費(千円)			計画	5,069	7,620	7,814	7,985	9,488	
			実績	4,702	6,485	7,692	9,176		
内) 国・府負担額			計画	1,000	1,000	1,580	1,580	1,580	
			実績	1,080	1,080	1,425	1,000		

事務事業名称			文化遺産の適切な維持保全				所管課	生涯学習推進部 社会教育課	
事業目的・概要			指定文化財の適切な維持管理を行うとともに、文化財保存活用地域計画の推進を図る。				事業コード	52401-03	
							事業区分	継続	自主
							直接実施		
年度			令和3年度	令和4年度	第1期基本計画				
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
取組内容			・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会) ・重要文化財一般公開 ・市指定史跡私部城跡整備事業	・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会) ・重要文化財一般公開	・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会、文化財保存活用推進会議) ・重要文化財一般公開 ・文化財保存活用地域計画事業	・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会、文化財保存活用推進会議) ・重要文化財一般公開 ・文化財保存活用地域計画事業	・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会、文化財保存活用推進会議) ・重要文化財一般公開 ・文化財保存活用地域計画事業	・文化財に関する会議(文化財審査委員会、文化財保存活用地域計画協議会、文化財保存活用推進会議) ・重要文化財一般公開 ・文化財保存活用地域計画事業	
活動指標	補助金交付件数	計画	2件	2件	3件	2件	2件		
		実績	0件	2件	2件	2件			
活動指標	一般公開等	計画	4回	4回	4回	4回	4回		
		実績	3回	3回	3回	3回			
事業費(千円)			計画	9,908	4,395	8,983	483	483	
			実績	8,670	4,395	359	402		
内) 国・府負担額			計画	6,764	2,047	8,500	—	—	
			実績	6,764	2,047	0	—		

1. 交野の歴史文化の保存・活用

事務事業名称		文化財の普及啓発			所管課	生涯学習推進部 社会教育課		
事業目的・概要		歴史民俗資料展示室公開を通じて市民への文化財の普及啓発を行う。			事業コード	52401-04		
					事業区分	継続	自主	
					直接実施	-		
年度		令和3年度	令和4年度	第1期基本計画				
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
4	取組内容		・交野市歴史民俗資料展示室の公開活動 ・交野市立教育文化会館改修工事	・交野市歴史民俗資料展示室の公開活動	・交野市歴史民俗資料展示室の公開活動	・交野市歴史民俗資料展示室の公開活動	・交野市歴史民俗資料展示室の公開活動	
	活動指標	見学者数	計画	5,000人	3,000人	4,000人	4,000人	4,000人
			実績	2,101人	3,544人	4,267人	4,100人	
	特別展・企画展・スポット展示	計画	5回	5回	5回	5回	5回	
		実績	6回	6回	5回	6回		
	事業費（千円）		計画	11,951	3,360	4,174	3,966	4,653
			実績	9,265	3,360	4,366	4,347	
	内) 国・府負担額		計画	-	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-	